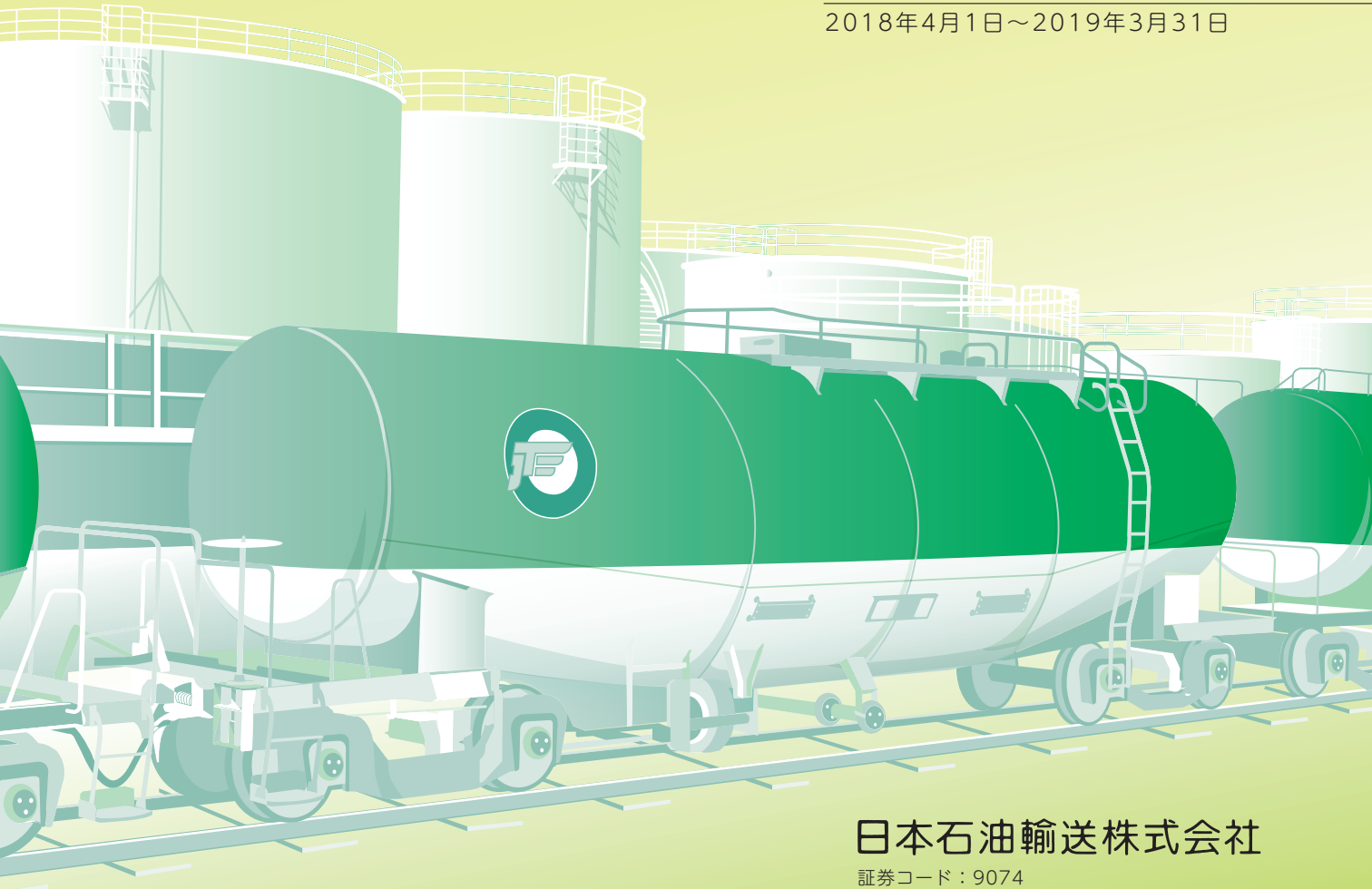
JOT

株主の皆様へ

2019年3月期　報告書

2018年4月1日～2019年3月31日



日本石油輸送株式会社

証券コード：9074

Shift for the Next

安全の徹底と質の高いサービスで
未来への責任を果たします

代表取締役社長　原　昌一郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第102期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の事業概況のご報告をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

今後のわが国経済は、緩やかな回復基調が続くとみられる一方、本年10月に予定されている消費税率引き上げや、引き続き海外経済の不確実性の高まりによる影響が懸念されております。

物流業界につきましては、乗務員不足の問題や人件費等の経費の上昇もあり、厳しい状況が続くものと予想されます。また、石油元売り各社の経営統合や合理化の動きが進むなかで、今後、当社グループに様々な影響を及ぼすものと思われます。

このような状況のなか、当社グループは、「Shift for the Next 安全の徹底と質の高いサービスで未来への責任を果たします」というキャッチフレーズのもとに、中期経営計画の達成に向け、グループ一丸となって取り組んでおります。

中期経営計画２年目となる2018年度は、燃料費や人件費等の経費の増加や自然災害等の影響により、利益面において当初の計画に及ばなかったものの、最終年度である2019年度は、これまでの施策をさらに推進し、目標（売上高330億円以上、営業利益12億円以上、経常利益15億円以上）の達成を目指してまいります。

また、こうした取り組みと並行し、安定輸送の継続に向け、引き続き雇用環境の改善による乗務員の確保や車両の拡充にも注力するとともに、安全教育についてもより一層の充実を図ることで、今後もお客様に安心してご利用いただける質の高いサービスの提供に努めてまいります。

当期の期末配当金につきましては、1株につき金40円とさせていただきました。これにより、中間配当金（1株につき金40円）を含めました年間配当金は1株につき金80円となっております。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

第102期決算の概況（連結）

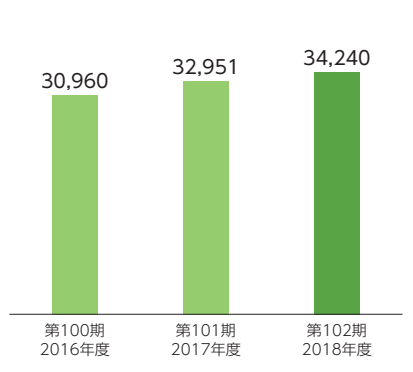
当社グループは、中期経営計画（2017年度～2019年度）の達成を目指して、輸送シェアの維持・拡大を通じた収益力の強化、ＬＮＧ（液化天然ガス）輸送、水素輸送、化成品における海外輸送等の成長分野の推進、グループ連携の強化等による生産性向上等に取り組みました。

また、より安定的な輸送体制の確立に向けて、乗務員の確保や車両の拡充にも注力いたしました。

この結果、当連結会計年度における売上高は34,240百万円（前年同期比3.9％増）となりましたが、燃料費や人件費等の経費の増加により、営業利益は1,009百万円（同17.5％減）、経常利益は1,315百万円（同10.4％減）、親会社株主に帰属する当期純利益は831百万円（同19.8％減）となりました。

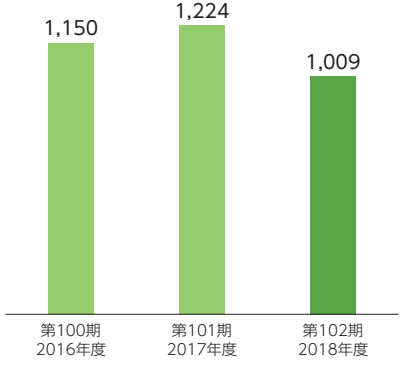
売上高

（単位：百万円）



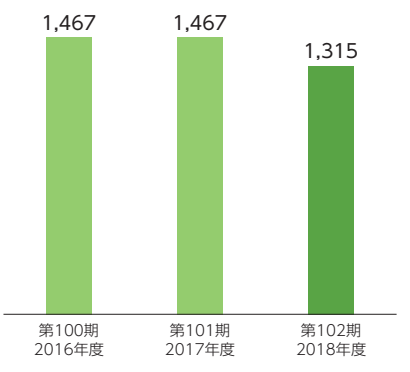
営業利益

（単位：百万円）



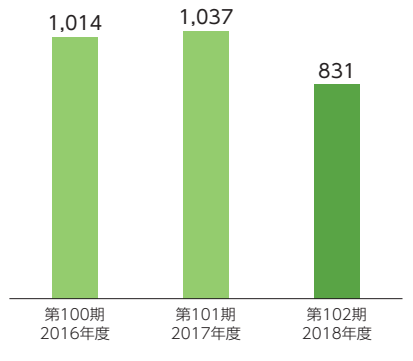
経常利益

（単位：百万円）



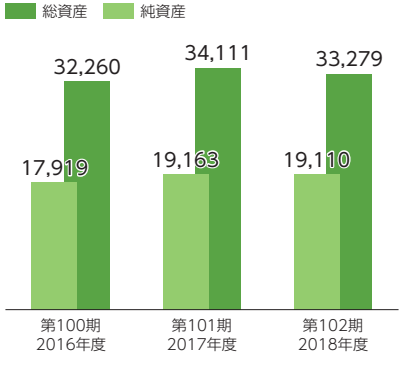
親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



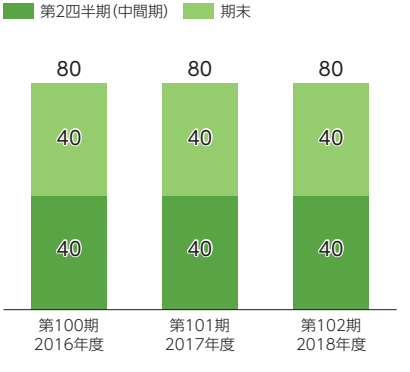
総資産・純資産

（単位：百万円）



1株当たり配当金

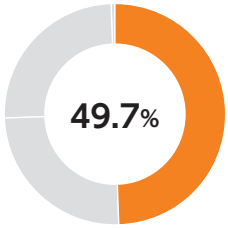
（単位：円）

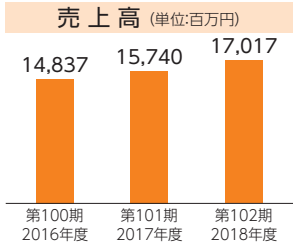


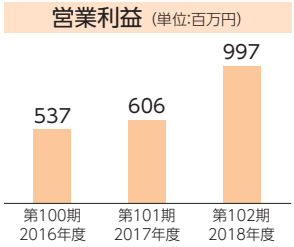
※当社は、2016年10月１日をもって、10株を１株とする株式の併合を実施しており、第100期中間配当については、当該株式の併合実施後の基準に換算して記載しております。

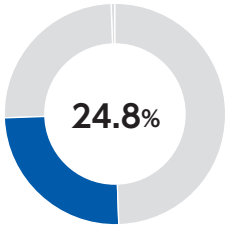
セグメント別の概況（連結）

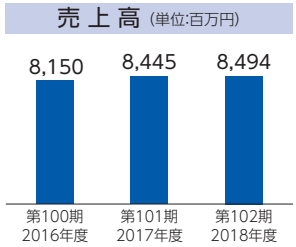
	売上高構成比	売上高・営業利益の推移
石油輸送事業	49.7%	売上高（単位:百万円）14,837 / 15,740 / 17,017 営業利益（単位:百万円）537 / 606 / 997
高圧ガス輸送事業	24.8%	売上高（単位:百万円）8,150 / 8,445 / 8,494 営業利益（単位:百万円）487 / 471 / 96
化成品・コンテナ輸送事業	25.0%	売上高（単位:百万円）7,791 / 8,584 / 8,549 営業利益（単位:百万円）78 / 89 / △151
その他事業	0.5%	売上高（単位:百万円）180 / 181 / 179 営業利益（単位:百万円）46 / 56 / 66

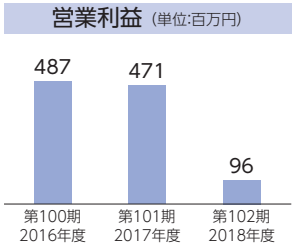


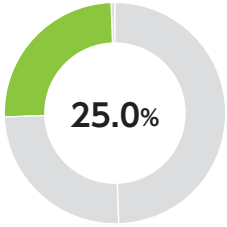


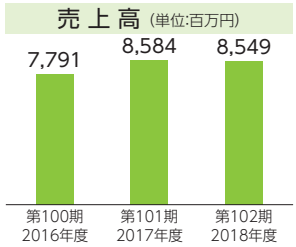


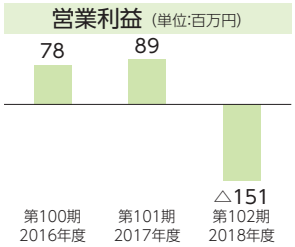


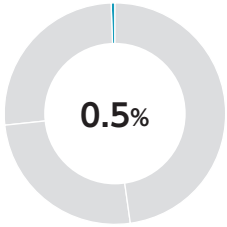


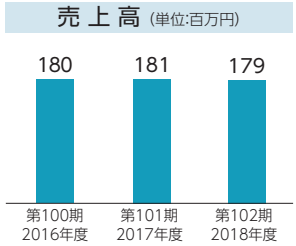


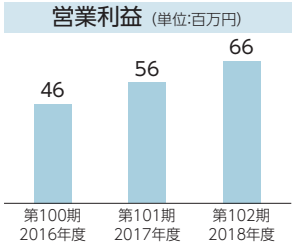












事業内容

環境に優しく、低コストで大量輸送が可能な鉄道タンク車輸送と、機動力があり柔軟性に富んだ自動車輸送という2つの異なる輸送モードを持つメリットを生かし、ガソリン、軽油、灯油等の燃料油の輸送を行っています。

タンクローリーによる輸送と、鉄道用タンクコンテナによる複合一貫輸送を行っています。全国各地のLNG(液化天然ガス)輸入基地および国産ガス田から、お客様のサテライト基地、工場等を結んでいます。

化成品輸送事業は、各種化学品、食品等の液体・粉粒体を輸送する各種コンテナのリースおよび様々な輸送モードを組み合わせた複合一貫輸送を展開しています。

コンテナ輸送事業は、農産品や食料品、工業製品の他、宅配便等、お客様のニーズに適した各種鉄道用コンテナをレンタル・リースしています。

太陽光発電事業を展開しており、現在、全国4か所にJOTソーラーステーションを設置しています。

当期の概況

売上高17,017百万円　営業利益　997百万円

石油輸送事業につきましては、石油元売り会社の合併や経営統合の動きに対し、積極的に輸送シェアの維持・拡大に努めたなかで、主要顧客の運賃改定により、売上高および営業利益は増加いたしました。

この結果、当事業における売上高は17,017百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は997百万円(同64.6%増)となりました。

売上高 8,494百万円　営業利益　96百万円

高圧ガス輸送事業につきましては、ＬＮＧ輸送における新規輸送の拡大に努め、売上高は増加いたしましたが、燃料費や人件費等の経費の増加に伴い、営業利益は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は8,494百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は96百万円(同79.5%減)となりました。

売上高 8,549百万円　営業利益△151百万円

化成品輸送事業につきましては、積極的な営業活動の展開により、国内輸送が伸長したことに加え、海外輸送において料金の見直しに向けた取り組み等を進めた結果、売上高は増加いたしました。

コンテナ輸送事業につきましては、昨年7月に発生した西日本豪雨等の自然災害による貨物列車の運休や、北海道地区における野菜類の生育不良の影響により、売上高は減少いたしました。

この結果、当事業における売上高は8,549百万円(前年同期比0.4%減)となりました。また、利益面においては自然災害等による売上高の減少および投資に伴う経費の増加により、151百万円の営業損失(前年同期は89百万円の営業利益)となりました。

売上高　179百万円　営業利益　66百万円

太陽光発電事業につきましては、売上高は179百万円(前年同期比1.1%減)となりましたが、経費の減少により、営業利益は66百万円(同16.5%増)となりました。

TOPICS

化成品輸送事業　2018年度トピックス

・低背タイプのISOタンクコンテナを新たに投入いたしました

JOTグループの化成品輸送事業では、国際規格に基づいたISOタンクコンテナのリースが主体となっております。国内輸送用では陸上輸送・鉄道輸送・海上輸送と3種類の輸送モードに対応可能な各種コンテナを提供してまいりました。

今般、タンクローリーの老朽代替や新規輸送をご検討されているお客様向けに、新たに低背タイプのISOタンクコンテナを開発いたしました。高さを2m未満にし、従来のコンテナよりもさらに全高を抑えることでタンクローリーの高さに近づけたことに加え、軽量化も図っております。またオプション仕様であった工具箱やホースケース、折り畳み式梯子を標準仕様とすることで、投入時に要する改造期間の短縮を図っております。2018年度は30個を投入いたしましたが、お客様からご好評をいただいており、今後も増個していく方針です。

JOTグループでは、今後もお客様のニーズに合わせた様々な容器を開発し、事業基盤の更なる拡大に全力で取り組んでまいります。

低背タイプのISOタンクコンテナ

折り畳み式梯子

COLUMN

JOTグループの事業紹介　高圧ガス輸送事業（LNG輸送）

JOTグループのLNG輸送は、1984年にタンクローリー輸送、2000年には国内初となるLNGタンクコンテナの利用による鉄道輸送を開始いたしました。事業開始から約35年が経過し、今ではグループの事業の大きな柱の一つとなっているLNG輸送事業ですが、そもそもLNGとはどのようなものなのかピンとこない方も多いのではないでしょうか？

LNGとは、Liquefied Natural Gas（液化天然ガス）の略で、ガス田や油田から採掘した天然ガスを分離・精製し、マイナス162℃に冷却して液化したものであり、CO_2の排出量が少ないため環境に優しいクリーンなエネルギーとして注目されています。また、液化させることで体積が約600分の1になる特性から、効率の良い輸送が可能になります。

危険物であるLNGの輸送業務を担うにあたり、JOTグループでは専用のトレーニングセンターを設置し、ここで業務に必要な知識を習得するほか、実物のLNGタンクローリーや訓練用配管を使い、実地さながらの実技訓練を行っています。また、輸送においては、約30カ所の拠点と協力会社によって国内最大の輸送シェアを誇っています。

今後も、クリーンエネルギーとしてさらなるニーズが見込まれるLNG輸送のエキスパートであるとの自覚をもち、安全・確実な輸送に尽力してまいります。

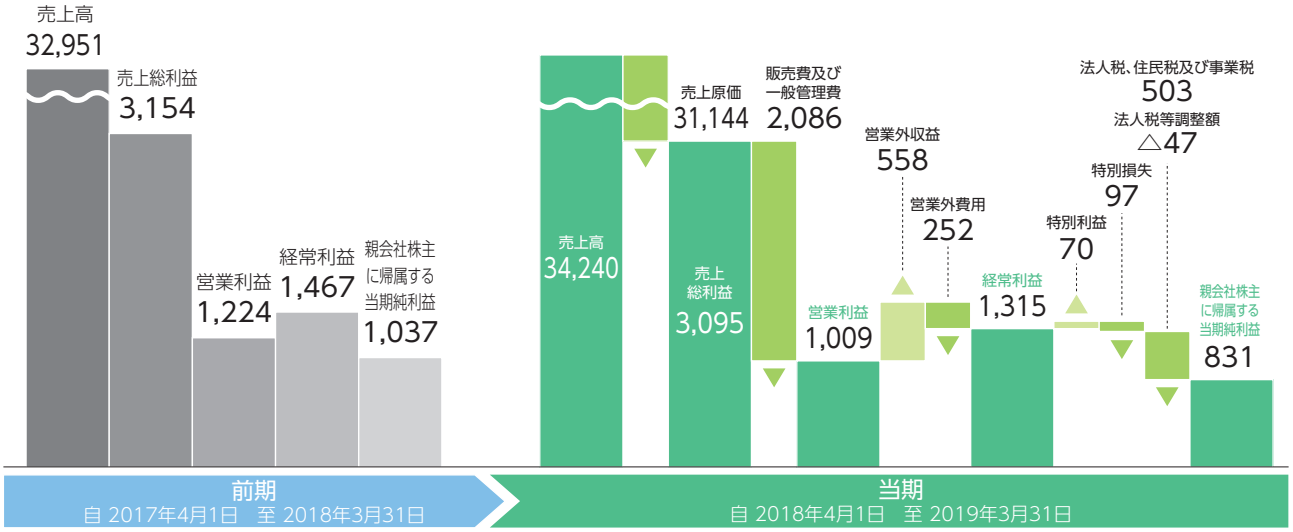
LNGタンクローリー

トレーニングセンターにおける実技訓練

連結財務諸表

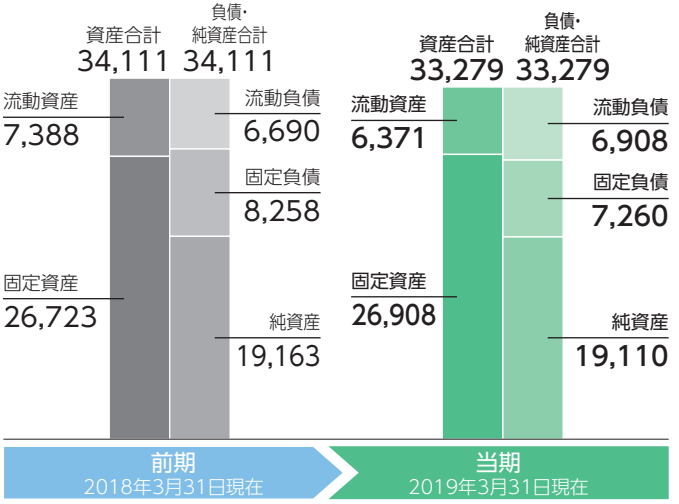
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



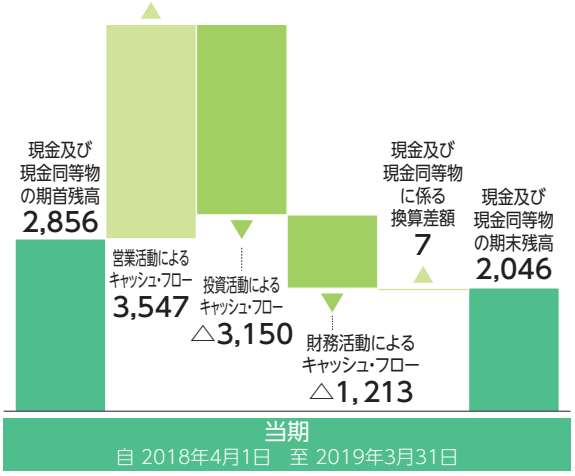
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

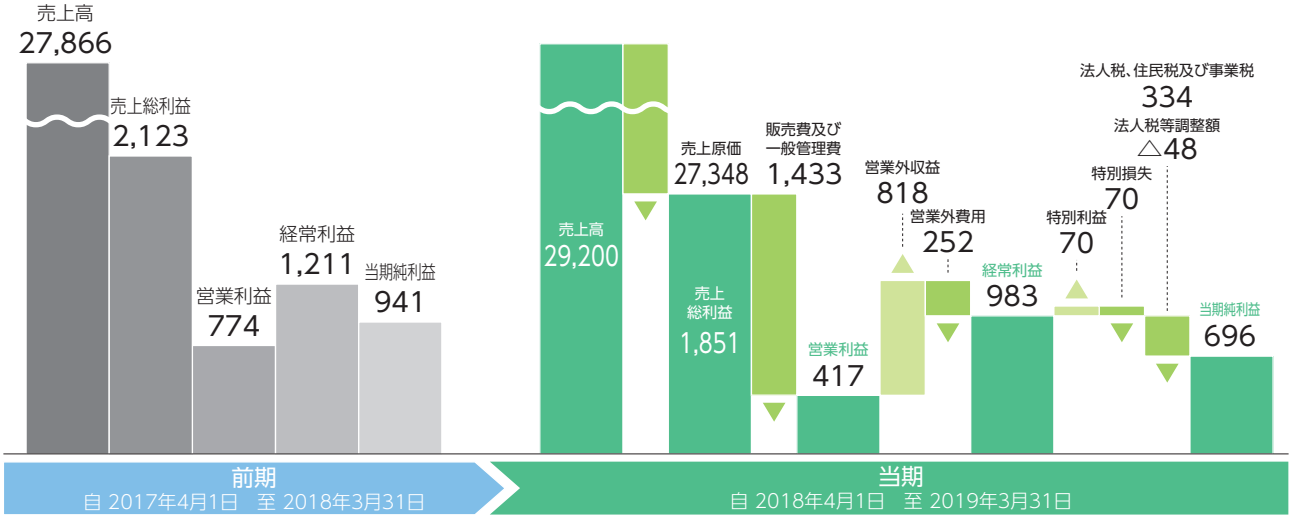
(単位:百万円)



単独財務諸表

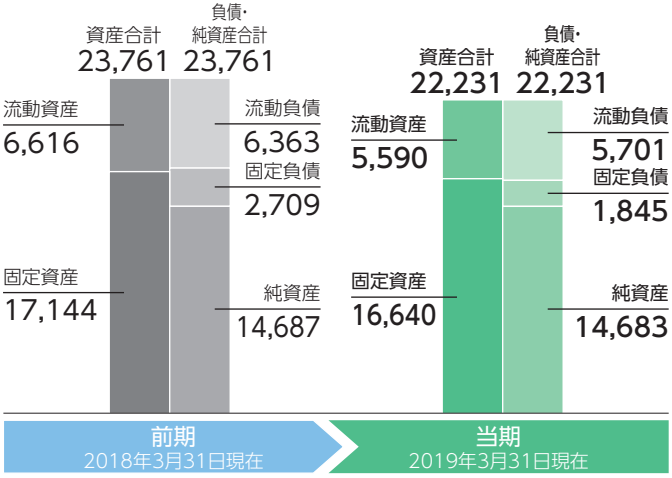
単独損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



単独貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



詳細な財務情報は、当社ホームページ『IR情報』のページをご利用ください。

https://www.jot.co.jp/ir/

日本石油輸送 IR 検索

株式の状況／JOTグループ (2019年3月31日現在)

株式の状況

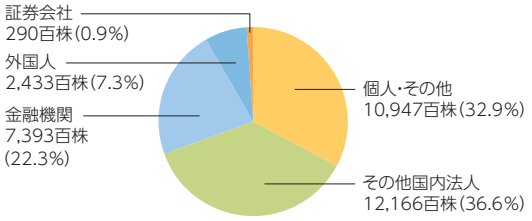
発行可能株式総数	6,000,000 株
発行済株式の総数	3,322,935 株 (自己株式12,117株を含む)
株主数	2,806 名

大株主

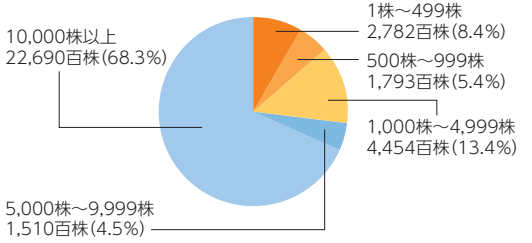
株　主　名	持株数(百株)	持株比率(%)
JXTGホールディングス株式会社	9,644	29.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,286	3.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	981	2.96
株式会社光通信	981	2.96
株式会社三井住友銀行	788	2.38
小野寺　毅	737	2.23
日本車輌製造株式会社	669	2.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	581	1.75
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	526	1.59
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	438	1.32

株式の分布

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



JOTグループ

株式会社エネックス

石油製品・高圧ガス等の貨物自動車輸送、
石油コンビナートの防災業務

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-5759-6701(代表)

近畿石油輸送株式会社

石油製品・高圧ガス等の
貨物自動車輸送

〒510-8002 三重県四日市市天カ須賀新町1番地20
TEL:059-363-2500(代表)

株式会社ニチユ

産業機材、車両等の販売および賃貸、
保険代理業

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号
TEL:03-6417-9591(代表)

株式会社ニュージェイズ

石油化学製品等の貨物自動車輸送、
自動車整備事業

〒510-0958 三重県四日市市小古曽三丁目2番15号
TEL:059-349-1800(代表)

株式会社JKトランス

石油製品・石油化学製品等の
貨物自動車輸送

〒210-0856 川崎市川崎区田辺新田1番5号
TEL:044-328-6625(代表)

会社概要 (2019年3月31日現在)

会社概要

商号	日本石油輸送株式会社
設立	1946年(昭和21年)3月27日
本社所在地	〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番1号 (ゲートシティ大崎　ウエストタワー16階) TEL:03-5496-7671(代表)
資本金	16億61百万円
従業員数	連結1,494名、単体159名
主要取引銀行	㈱三井住友銀行、㈱三菱UFJ銀行、㈱みずほ銀行
主要な事業所	北海道支店(札幌)・東北支店(仙台)・ 関東支店(川崎)・中部支店(四日市)・ 関西支店(大阪)・九州支店(福岡)・ シンガポール支店(シンガポール共和国) および新潟事業所
主要な事業内容	1. 石油製品(ガソリン・灯油等)の鉄道タンク車輸送・貨物自動車輸送 2. 高圧ガス(LNG等)の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送および複合一貫輸送 3. 石油化学製品等の鉄道コンテナ輸送・貨物自動車輸送ならびに国内および国際複合一貫輸送、各種コンテナのリース 4. 鉄道用冷蔵・冷凍コンテナ等のレンタル・リース 5. 太陽光発電事業

役　員 (2019年6月27日現在)

取締役

代表取締役会長		栗本　透
代表取締役社長 社長執行役員		原　昌一郎
取締役 常務執行役員	石油部、グループ安全推進部管掌 石油部長	髙橋　文弥
取締役 常務執行役員	LNG部、化成品部管掌 化成品部長	田長丸雅司
取締役 常務執行役員	海外事業部、コンテナ部管掌	武本　修
取締役 執行役員	人事部、経理部、情報システム部管掌 人事部長、経理部長兼情報システム部長	岡﨑　基太
取締役 執行役員	総務部管掌 総務部長	松井　克浩
取締役	株式会社エネックス代表取締役社長	畑　義昭
取締役		大田　勝幸
社外取締役		草刈　隆郎
社外取締役		坂之上洋子

監査役

常勤監査役		吉田　秀穂
常勤監査役		高野　潤
社外監査役		佐野　裕
社外監査役		齊藤　貴一

取締役を兼務しない執行役員

執行役員	関東支店長	青野　滋
執行役員	石油部部長兼グループ安全推進部長	竹本　明彦
執行役員	LNG部長	大内　満

単元未満株式のお取扱いについて

単元未満株式とは、当社株式の売買単位である1単元（100株）未満（1～99株）の株式のことであり、市場での売買ができませんが、そのお取扱いには、以下の方法がありますので、ご案内いたします。

1.買取制度

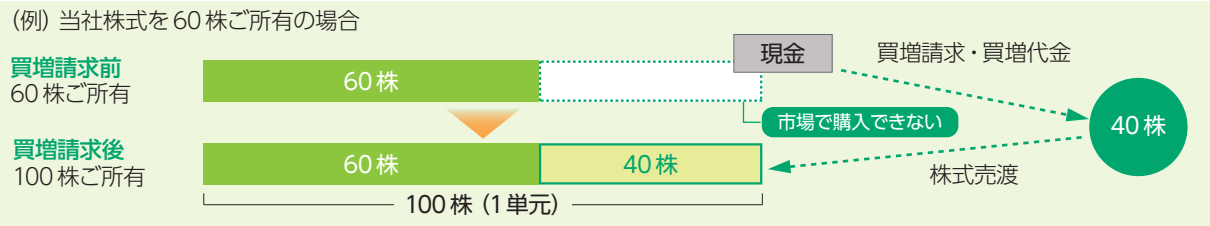
ご所有の単元未満株式は、当社に対し買取（現金化）の請求をすることができます。

（例）当社株式を120株ご所有の場合

2.買増制度

ご所有の単元未満株式の数とあわせ、当社に対し1単元（100株）になる数の株式の買増を請求することができます。

（例）当社株式を60株ご所有の場合



お手続きの詳細につきましては、株主様の口座のある証券会社等または株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問合せください。なお、当社では買取請求および買増請求にかかる**手数料を無料**とさせていただいておりますが、証券会社等の口座管理機関へ支払う手数料につきましては、株主様の口座のある証券会社等へご確認ください。

【株主名簿管理人　三井住友信託銀行】

- 電話［フリーダイヤル］ **0120-782-031**（平日 9：00～17：00）
- ホームページアドレス **https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html**
- 郵便物送付先 **〒168-0063　東京都杉並区和泉二丁目8番4号**
  三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

日本石油輸送株式会社

〒141-0032
東京都品川区大崎一丁目11番1号（ゲートシティ大崎　ウエストタワー16階）
TEL:03-5496-7671（代表）

https://www.jot.co.jp/

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK
Waterless Printing. Naturally.

この冊子は、適切に管理された森林から生まれたFSC® 認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷しています。